

| 項 | 頁番号 | 行番号 | 項目 | 種別 | 意見 | 理由 | 回答 |
|----|-----|-----|-------------------------|----|---|---|---|
| 1 | 7頁 | 18行 | 2. (1) (a) 4項目 | 1 | 弊社データセンタは、沿岸地帯に立地していても、データセンターとして津波や水害などの災害に万全な備えを行っております。上記を証明する資料を提出することを条件に、要件の緩和をいただきたくお願いいたします。 | データセンター用地として選択が限定されないようにする為。 | 記述を変更しません。 ・該当項目は立地に関する部分であるため、データセンターが災害リスクの小さな立地であることとされていますが、十分な災害対策を行っていることは必須条件として含んでいません。災害対策については、(b)施設・マンルーム条件に個別に上げています。 ・立地条件と災害対策条件は両方ともにデータセンターの必須条件であり、緩和すべきではありませんと考えます。 ・行政機関の使用するデータセンターは、行政サービスを継続的に提供する必要から、災害の被害を受けにくい場所に立地し、災害対策も万全であることが求められます。 |
| 2 | p.7 | 29 | 2. (1). (a) | 4 | 液状化や洪水は沿岸部や河川の付近で発生するものではないため、データセンターの立地条件ではなく、データセンターの取っている対策に基準を設けて（海拔、地盤の強さ等）評価いただきたく存じます。 | 液状化は建物立地する地盤の状態が起因し、洪水は都市部（内陸部）であっても河川が氾濫することにより起こる可能性が有ります。そのため、液状化や洪水対策として重要な点は、データセンターの立地している地盤や建物の高さであると考えます。 | 記述を変更しません。 ・該当項目は立地に関する部分であるため、データセンターが災害リスクの小さな立地であることとされていますが、十分な災害対策を行っていることは必須条件として含んでいません。災害対策については、(b)施設・マンルーム条件に個別に上げています。 ・立地条件と災害対策条件は両方ともにデータセンターの必須条件であり、緩和すべきではありませんと考えます。 ・行政機関の使用するデータセンターは、行政サービスを継続的に提供する必要から、災害の被害を受けにくい場所に立地し、災害対策も万全であることが求められます。 |
| 3 | p.7 | 37 | 2. (1). (b) | 2 | 火災対策としては、「新ガス消火設備」をデータセンターの仕様に入れることを推奨いたします。 | 公共施設等の消火設備として、通常は水を使った消火設備（消火栓等）が設置されますが、データセンターの場合には放水するとIT機器が損傷する恐れがあります。そのため、機器の損傷を避けるために、ガス系の消火設備を設置することが必要となります。ただし、ハロゲンガスは環境及び人体へ悪影響となるため、新ガス消火設備を推奨いたします。 | データセンターの消火設備は、ガスが一般的であり、「ハロゲンガス」は使用を禁止されています。以下の通り記述を追加します。 消火設備として、放水によるIT機器の損傷を避けるため、ガスを使用した消火設備を有すること。 |
| 4 | p.7 | 41 | 2. (1). (b) | 2 | 安定的な受電対策としては、「複数の変電所から受電とすること」をデータセンターの仕様に入れることを推奨いたします。 | 従来データセンタは同一の変電所から2系統受電が一般的ですが、大災害時には電力の供給元である変電所自体が損傷することが想定されます。そのため、変電所も複数準備しておくことを推奨いたします。 | 記述を変更します。 2. (1) (b)施設・マンルーム条件 ・受電する変電所を複数系統化する。 |
| 5 | 7 | 24 | 2. (1) (a) | 4 | 右記の理由により、下記変更を提案致します。 ・沿岸地帯ではなく、近くに河川等がなく液状化や洪水の発生などの恐れがない場所に設置されていること。または、水害や液状化に対して十分な対策を講じていること。 | 必要な要件として水害対策や液状化等しっかりと対策を行っている事が求められるかと思われますので、左記のように変更願います。 | 記述を変更しません。 ・該当項目は立地に関する部分ですが、データセンターが災害リスクの小さな場所に立地し、かつ十分な災害対策を行っていることが必須条件です。 ・行政機関の使用するデータセンターは、行政サービスを継続的に提供する必要から、災害の被害を受けにくい場所に立地し、災害対策も万全であることが求められます。 |
| 6 | 7 | 26 | 2. (1) (a) | 4 | 右記の理由により、下記変更を提案致します。 ・地震、火災、浸水、津波等災害の恐れのある場所を避けて設置されていること。または、地震、火災、浸水、津波等災害に対して十分な対策を講じていること。 | 地震、火災、浸水、津波等災害の恐れのある場所は、日本全国にリスクはあるものと考えます。 必要な要件として、災害に対して十分な対策を行っている事が求められるかと思われますので、左記のように変更願います。 | 記述を変更しません。 ・災害のリスクは日本全国に存在しますが、地域によりリスクのレベルには差があります。 ・該当項目は立地に関する部分ですが、データセンターが災害リスクの小さな場所に立地し、かつ十分な災害対策を行っていることが必須条件です。 |
| 7 | 8 | 19 | 2. (2) (b) | 4 | 右記の2点を理由に下記変更を提案致します。 (b)ファイアウォール ・冗長化構成とし、障害時にも自動的に切り替わること。 ・適用上、必要なセキュリティポリシーを設定すること。 (c)SSLアクセラレータ ・SSLアクセラレータを利用してHTTPS通信を行うサイトのためのサーバ証明書を設定できること。 | (1) SSLの暗号化、複合化を実施する際には、ファイアウォールとは別にアプライアンス機器を導入されることを推奨致します。 機器によってはSSLアクセラレータ機能を搭載するファイアウォールもございますが、専用で作られた機器ではないため、ファイアウォールとしての著しいスペック低下が懸念されます。 そのため、必要以上に高機能なモデルを選定する必要が生じる可能性がございます。 (2) ファイアウォールのオプション機能であるSSLアクセラレータ機能は比較的最近のファームウェアから実装されているため、実績が少ないことも懸念致します。 | 要件の明確化のため、記述を変更します。 ファイアウォールへのSSLアクセラレータの実装は必須条件ではなく、同等の機能による代替も可能とします。 ・SSLアクセラレータを有すること。（他の機器により同等の機能を実現することも可） ・SSLアクセラレータ（または同等の機能）を利用してHTTPS通信を行うサイトのためのサーバ証明書を設定できること。 |
| 8 | 13 | 9 | 3. (9) ③ | 4 | 脆弱性をついた攻撃や不正侵入の対策のため、IDS/IPS(不正侵入検知・防御システム)やアプリケーションファイアウォールの導入の検討をお願いいたします。 また、今回はホスティング提供となるため、運用が容易なシステムをご要件としてご検討をされることをお勧めいたします。 | 暗号化通信を行うとはいえず、インターネット上に公開されているサーバのため、全世界からのサイバー攻撃のリスクはあります。 OSやアプリケーションの脆弱性を狙ったサイバー攻撃が増加しており、企業活動に影響をきたす事例も報告されていますので、そのリスク軽減対策として必要と考えています。 ただ、このような対策には専門知識が必要となる場合が多いため、運用面のサポートができることが必要と考えます。 | 脆弱性への対応は必須要件ですが、脆弱性への対応策の一つとしてIDS/IPS(不正侵入検知・防御システム)やアプリケーションファイアウォールの導入は、必須の要件とはしません。 |
| 9 | 13 | 36 | 4. (1) (a) | 4 | | | |
| 10 | 14 | 2 | 4. (2) (c) | 4 | | | |
| 11 | 14 | 6 | 4. (3) (a) | 4 | | | |
| 12 | 14 | 10 | 4. (4) (a)~ | 4 | | | |
| 13 | 1 | 25 | 5. 納品成果物と納入場所 (1) 納品成果物 | 3 | 以下のように追記いただきたく存じます。 「各納品成果物の納期は、受注者の作成する作業計画書において定義し、主管係の承認を得ること。」 | 要求仕様を明確にするため。 | 要件の明確化のため、記述を変更します。 ・各納品成果物の納期は、受注者の作成する作業計画書において定義し、主管係の承認を得ること。 |
| 14 | 3 | 28 | 8. 前提条件 (5) 本業務に | 3 | 以下のように修正いただきたく存じます。 「機器の構築、搬入・据付、各種設定、データ移行等の業務に係る費用は業務完了後、賃貸借の費用は月次で、契約書に定めるところにより支払うものとする。」 | 見積の精度を高めるため。 | 記述を変更しません。 |

| 項 | 頁番号 | 行番号 | 項目 | 種別 | 意見 | 理由 | 回答 |
|----|-----|-----|---|--------------|--|---|--|
| 15 | 4 | 30 | 10. その他 | 3 | 以下のように修正いただきたく存じます。 「現行システムのソースプログラムを含む現行業者の納品成果物については、閲覧及びその使用は可能。」 | 発注者として想定されている要件を正確に把握し、品質の高い業務を提供するため。 | 記述を変更しません。 ・2ページの7. 機密保持等(2)の記述のとおり、応札に あたり必要と認められる情報については開示いたします。 |
| 16 | 9 | 19 | 2. データセンター(ホスティング)詳細仕様 (3)監視・障害対応 | 3 | 以下のように追記いただきたく存じます。 「監視・障害対応の要件は、以下のとおりである。なお、本調達仕様書に示す要件を満たせば、受注者が自ら用意する国内外の遠隔拠点において実施することを可とする。」 | 発注者として想定されている要件を正確に把握し、品質の高い業務を提供するため。 | 要件の明確化のため、記述を変更します。 「監視・障害対応は原則として遠隔による対応を不可とする。ただし内閣府の認める作業に限り、事前に拠点を申請しておくことで遠隔による対応を可とする。国外からの遠隔対応は許可しない。」 防災やセキュリティ対策等を考えればサーバと同じ建屋内が理想であり、遠隔は不可とすべきですが、別の建屋や同等のセキュリティ対策を取る拠点等であれば問題ないと思われる。よって、原則不可とし、内閣府の承認を条件として可としました。 国外は各国の政治、経済、法律、災害等の状況により業務が影響を受ける可能性があり、遠隔操作を行う場所のセキュリティ等が守られるか判断しにくいため、不可としました。 |
| 17 | 16 | 28 | 9. その他(10)本業務の | 3 | 以下のように追記いただきたく存じます。 「なお、現行業者の作業範囲については、閲覧に供する現行業務の調達仕様書等を確認すること。」 | 見積の精度を高めるため。 | 仕様書に記述する通り、本業務の作業遂行に当たっての現行業者の作業範囲等は、内閣府の調整の元、受注者と現行業者で協議の上決定します。 |
| 18 | 6 | 1 | 1. 貸借機器(ハードウェア/ソフトウェア)詳細仕様 (2) 文書登録PC(デスクトップ型) (h) ソフトウェア | 2. 要求水準を上げる。 | 「ドキュメント作成ソフトウェア: PDFの作成・編集機能を有していること。」について 【1】 サイバー攻撃対策、情報漏洩対策、改ざん防止、成りすまし防止を考慮し、政府認証基盤(GPKI)の署名検証が行える製品のご採用をご検討下さい。 ご参考までに、仕様書記載例(案)をご提案いたします。 「政府認証基盤(GPKI)の署名検証が行えること」 | 【1】 昨年から続く、標的型サイバー攻撃対策として、内閣官房情報セキュリティセンター(NISC)様より、政府機関が作成または公開するPDFファイルに関しては、政府認証基盤(GPKI)の署名の付与が推奨されています。 約4年と長期間使用する中で、GPKI対応製品への移行のための追加費用が発生しないよう、今回、貴府が採用されるPDFソフトにおいても、政府認証基盤(GPKI)の署名検証に対応している製品のご採用をご提案いたします。 現在の段階で、対応済みの製品は、Adobe社「Adobe Acrobat」、スカイコム社「SkyPDF Professional」と複数社ございます。 | 情報セキュリティ対策として有効であり、対応済製品により提案内容を制限することにはならないため、記述を追加します。 ・政府認証基盤(GPKI)の署名検証が行えること。 |
| 19 | 6 | 1 | 1. 貸借機器(ハードウェア/ソフトウェア)詳細仕様 (2) 文書登録PC(デスクトップ型) (h) ソフトウェア | 2. 要求水準を上げる。 | 「ドキュメント作成ソフトウェア: PDFの作成・編集機能を有していること。」について 【2】 セキュリティ脆弱性排除の観点から、JavaScriptやlaunch-action等の動きのあるPDFアクションを管理者権限で無効にできる製品の採用をご検討下さい。 ご参考までに、仕様書記載例(案)をご提案いたします。 「JavaScript等の動きのあるPDFアクションを無効とすることが可能なこと」 | 【2】 ご承知のことは存じますが、標的型サイバー攻撃は現在も続いており、この標的型サイバー攻撃の多くは、メールに添付されたPDFファイルを開覧したことでPC内の情報が抜き取られたものです。 原因はISO32000-1の規格にも含まれる、JavaScript ActionsやLaunch Actions、Submit-Form Actions等の動きのあるPDFアクションに存在するセキュリティホールを悪用した物です。 メーカー側はセキュリティアップデートを頻りに提供し対応していますが、この問題は構造上の問題のため、動きのあるアクションを無効としない限り新たな問題が発生し続けます。 このため利用者は、こまめにパッチをあてる作業など運用上の負荷が予想されるばかりか、セキュリティホールの発見からパッチのリリースまで半年かかることもあり、その間、セキュリティリスクにさらされ続けています。 本機能のような、通常利用では必要としない機能は無効にできる製品をご採用することをお勧めいたします。 | 内閣府に設置予定の文書登録PCは、行政機関作成の内部文書の取扱いを主な業務としており、メールの使用も無く、外部からの攻撃の可能性が比較的低い端末となります。セキュリティ対策としては、ウイルス対策とセキュリティパッチの適用が十分条件と考えます。 PDF文書に限らず新たなセキュリティ上の脅威の発生は予測しますが、府内外のセキュリティ対策の状況を踏まえて、導入を検討いたします。 今回は必須要件とはしません。 |

注) 1. 種別欄には、意見の種類を以下から選択して、その番号を記載すること。
 [1. 要求水準を下げる。 2. 要求水準を上げる。 3. 文章だけを修正する。 4. その他]
 2. 意見及び、理由は、明確かつ簡潔に記載すること。
 3. 本様式の変更は、行わないこと。
 4. 電子媒体(CD-R等)も併せて提出のこと。

| 項 | | | | 質問 | 回答 |
|----|--|-----|-----------------------|--|--|
| 1 | 8頁 | 8行 | 2. (1) (b) 14項目 | 個別認証システム及び証跡管理が必要ということは、専用ホスティングという認識でよろしいでしょうか。 (共有ホスティングの場合は他ユーザとインフラを共有する可能性もあるため) | データセンター全体にて、個人認証システムを用いて物理的なアクセスを監視できることが必須であり、当システム専用のプロジェクトルーム等の個別のファシリティを準備する必要は有りません。 |
| 2 | 8頁 | 18行 | 2. (2) (b) 3項目 | ファイアウォールにてSSLアクセラレータ機能が必須な理由をご教示下さい。 | 当システムには、SSL通信を行う機能を含みます。SSLアクセラレーションを使用することにより、CPU処理能力に影響のある暗号化トラフィックを軽減します。ファイアウォール以外で同等の機能を実現できれば必須ではありません。仕様書の記述を変更します。 |
| 3 | 4頁 | 1行目 | 8. (11) (2) 1項目 | どのような条件において、内閣府殿が再委託を承認していただいたことになるのでしょうか。 | 作業計画書にて体制を提出し、再委託申請書を提出していただきます。その後、再委託を行う範囲、再委託の必要性について審査を行い、承認の可否の判断を行います。 |
| 4 | P4 10. その他について ・この記載の意味は、現行システムで動作しているプログラムを貴府よりご提供いただき、受託者が準備するWebインフラ環境にそのまま利用が可能ということでしょうか。 | | | | NPO情報公開システムにて開発したプログラムについては、契約後に受注者に内閣府より媒体を提供し、動作確認テスト等で使用することが可能です。 OS、DBMS、アプリケーションサーバ等のソフトウェアについては、各製品のライセンスを購入する必要がありますが、内閣府からは提供しません。受注者が各ライセンスを購入し、受注者が準備する検証環境等で使用して頂きます。 |
| 5 | P8 2. (2) (a) について ・データセンター向けインターネット回線において、冗長化構成とすると記載されておりますが、ISPの冗長化も必要でしょうか。 | | | | インターネット回線は、データセンターの共用施設を使用することを想定しており、ISPの冗長化は必須の条件ではありません。 |
| 6 | P8 2. (2) (a) について ・データセンター向けインターネット回線において、ISP接続している帯域は10Mbps相当であることと記載されておりますが、冗長化のための回線(バックアップ)も10Mbpsの帯域を確保することは必須でしょうか。バックアップ用回線は、100Mベストエフォートでも問題ないのでしょうか。 | | | | 冗長化のためのインターネット回線は、バックアップ回線ではなく、回線を切り替えて使用することを想定しており、同等の帯域を確保できる回線としてください。 |
| 7 | P8 2. (2) (a) について ・運用開始後、インターネット回線の増速を想定されていますでしょうか。また想定されている場合、最大でどの程度となりますでしょうか。 | | | | インターネット回線の増速は想定しておりません。 |
| 8 | P8 2. (2) (a) (b) について ・データセンター向けインターネット回線において、冗長化のためファイアウォール以外に機器(L2スイッチ等)もご提供することは可能でしょうか。 | | | | ネットワーク機器(L2スイッチ等)は、P8 2. (2) (c) の内部ネットワークに含み、経路を2重化することとしています。冗長化のためファイアウォール以外に機器(L2スイッチ等)を使用することは可能です。 |
| 9 | P8 2. (2) (b) について ・SSLを終端後、IPSアプライアンスなどを用いて通信を監視するご要件はございませんでしょうか。 | | | | 必須の要件としてはありませんが、IPSアプライアンスを含むセキュリティ対策をご提案されることは構いません。 |
| 10 | P8 2. (2) (d) について ・現行システムで動作しているプログラムの言語をご教示いただけますでしょうか。 ・このプログラムのメンテナンスによる入れ替え作業の頻度をご教示いただけますでしょうか。 また、メンテナンスおよび入れ替え作業は、受託者が行う想定でしょうか。 | | | | ・ホームページは、HTMLを使用。 プログラム言語はJAVA言語となります。 ・ホームページの変更頻度は10件程度/月 プログラムメンテナンス頻度は、4回/年程度 ・ホームページ更新は原則として運用支援の受託者が行い、入替作業はプログラムメンテナンスの受託者が行う想定です。 |
| 11 | P8 2. (2) (d) について ・現在運用中のWeb用ミドルウェアをご教示いただけますでしょうか。 ・現在運用中のWebアプリケーション用ミドルウェアをご教示いただけますでしょうか。 また、今回の調達に際し、Webアプリケーション用ミドルウェアの指定はありますでしょうか | | | | ・Webアプリケーション用ミドルウェアは、Interstage Application Server V9(富士通製)です。 ・Webアプリケーション用ミドルウェアの指定はありません。 |
| 12 | P8 2. (2) (d) について ・現在運用中の情報公開Webアプリケーション機能を有するサーバの台数および、今回稼働を想定している台数をご教示いただけますでしょうか。 また、経路だけでなく、情報公開Webアプリケーション機能を有するサーバも冗長化は必要でしょうか ・移行対象の6システムは、1システム1台を検討されておりますでしょうか。それとも複数システム1台でも問題ないでしょうか。 | | | | ・現在運用中の情報公開Webアプリケーション機能を有するサーバは1台です。仕様書の記述通り、稼働率99%を守ることを条件に、サーバの冗長化は必須とはしません。 ・現行システム上で動作する、仕様書に記述する6システムが支障無く動作可能であれば、サーバ台数は限定しません。 |
| 13 | P8 2. (2) (d) について ・HTTP及びHTTPSアクセスできることとありますが、上位のファイアウォール等でSSLを終端するため、本サーバでHTTPSは必要でしょうか | | | | 機器構成の変更に備え、Webアプリケーションサーバ機能としては、HTTPSにも対応してください。 |
| 14 | P8 2. (2) (d) について ・現在運用中の情報公開Webアプリケーション機能を有するサーバのマシンスペックをご教示いただけますでしょうか。 | | | | 現在のデータセンターの提供するサービスとしてホスティング契約を行っており、サーバスペックは公開されていません。現行システム上で動作する、仕様書に記述する6システムが支障無く動作可能なサーバを選定ください。 |
| 15 | P8 2. (2) (e) について ・現在運用中のDB用ミドルウェアをご教示いただけますでしょうか。 また、今回の調達に際し、DB用ミドルウェアの指定はありますでしょうか。 | | | | ・現在運用中のDB用ミドルウェアおよび指定するDB用ミドルウェアは、Oracle Database 11g Release 1 (11.1.0)です。 ・DBミドルウェアの指定は、上記Oracleの上位バージョンになります。 |

| 項 | 質問 | 回答 |
|----|---|---|
| 16 | <p>P8 2. (2) (e) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在運用中の情報公開DB機能を有するサーバの台数をご教示いただけますでしょうか。 また、経路だけでなく、情報公開DB機能を有するサーバも冗長化は必要でしょうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在運用中の情報公開Webアプリケーション機能を有するサーバは1台です。仕様書の記述通り、稼働率99%を守ることが必須条件です。サーバの冗長化は必須とはしませんが、冗長化しての提案も可能とします。 ・現行システム上で動作する、仕様書に記述する6システムが支障無く動作可能であれば、サーバ台数は限定しません。 |
| 17 | <p>P8 2. (2) (e) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在運用中の情報公開DB機能を有するサーバのマシンスペックをご教示いただけますでしょうか。 | <p>現在のデータセンターの提供するサービスとしてホスティング契約を行っており、サーバスペックは公開されていません。現行システム上で動作する、仕様書に記述する6システムが支障無く動作可能なサーバを選定ください。</p> |
| 18 | <p>P9 2. (2) (g) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者端末が属する特定の管理領域からデータセンタまでの閉域を構築することは可能でしょうか。 IPアドレスの特定と、インターネット向けに管理コンソールを公開することを防ぐ意図でございます。 | <p>外部に公開しない管理者用端末の設定や管理者端末のアクセス制限は、要件としています。管理者端末が属する特定の管理領域として、受注者の管理領域とすることは可能ですが、事前に申請と内閣府の承認が必要です。</p> |
| 19 | <p>P9 2. (5) (a) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要なSSLサーバ証明書の枚数をご教示いただけますでしょうか。 | <p>必要なSSLサーバ証明書は、1枚です。</p> |
| 20 | <p>P12 3. (3) ⑥ について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書内にはメールについて記載がありませんが、メールサービス設計とは具体的に何を指しますでしょうか。 | <p>システム内にメールサーバはありません。ヘルプデスク業務を行うためにメールが使用できる様に設計を行います。</p> |
| 21 | <p>P12 3. (9) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイアウォールについてファイアウォール機能以外に、UTM機能のご利用を想定されていますでしょうか。 | <p>UTM機能の利用は想定していませんが、ご使用になる場合、UTMを含むシステムにて、仕様書記載の機能を満たしていることが必要となります。</p> |
| 22 | <p>P13、P14 4. について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴府サイト固有の作業についての委託業務内容(特に (1) (a)、(2) (c)、(3) (a)、(4) (a)～(f)) については、作業手順書実行マニュアルをご提示いただけるという認識でよろしいでしょうか。 | <p>2ページの7. 機密保持等(2)の記述のとおり、応礼にあたり必要と認められる情報については開示いたします。</p> |
| 23 | <p>P15 5. (1) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稼働確認は目視による確認でしょうか。 また、稼働確認OK/NGの判断指標を含む手順については貴府よりご指示いただけるという認識でよろしいでしょうか。 | <p>各システムの処理件数、結果の集計を行い定例会にて報告します。判断指標を含む手順を受託者が作成し、内閣府の承認を受けて実施してください。</p> |
| 24 | <p>P15 5. 2. (a) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レベルアップ、修正等を実施する際に、事前に動作検証が必要になると想定しており、そのための検証(ステージング)環境を用意することは可能でしょうか。 | <p>検証環境については、ハード・ソフト・ミドルウェアおよび検証作業自体も含め、受託者の負担にて用意・実施してください。</p> |